

沖縄で誓った夢 宮古島で駆け抜ける

夕焼けに染まる空を背に、
初宮古島トライアスロンでゴール
その瞳には、沖縄で仕事をしていく覚悟と
新たな夢。完走した今、星野選手が会社
に対する熱い思いを語った。



「スポーツを通じて、人を育て、
地域と繋がる。」— KAITOの挑戦

株式会社KAITOは、成果や効率の追求だけでなく、
人としての成長や信頼関係づくりを重視してきた。
社内ゴルフ大会、静岡マラソンでの給水サポート、
宮古島トライアスロンの応援、清水エスパルス観戦な
ど、スポーツを軸にした活動を継続している。
これらは単なる福利厚生ではない。応援する心、仲
間を思いやる気持ち、フェアプレー精神といった良い



組織に欠かせない価値を育む
場だ。特に同社が大切にしてい
るのは「応援される側」よ
り「応援する側」であること
マラソンやトライアスロンで
のサポートは、「自分のため
ではなく、誰かのために動く
尊さ」を実感できる機会とな
っている。

スポーツはまた、世代や立
場、拠点を越えたフラットな
関係を生み出す。現場スタッ
フと本社、若手とベテラン、
静岡と沖縄の社員が立場にと
らわれず交流し、笑顔でつな
がる姿は、同社の強みを象徴
するものだ。

「スポーツを通じて、人を育
て、地域とつながる」という
理念は、KAITOの企業姿勢
のものだ。「我々は、仕事に
も人にも地域にも、常に真摯
に向き合い続ける、"ETERNAL
CHALLENGER"であった。」



与那覇前浜でスイム
3km後、バイクにて
130キロメートル
島を駆け抜ける
写真 池間大橋